

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200374
法人名	医療法人 春成会
事業所名	グループホーム うのき
所在地	鹿児島県霧島市国分中央三丁目19番8号 (電話) 0995-45-5580
自己評価作成日	平成30年3月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・医療ニーズの高い入居者への対応を順応に行っています。
- ・各居室にトイレを設置し、プライバシーに配慮し、また広々とした居室でゆったりと過ごして頂けます。
- ・医療機関に隣接しており急変時等にも迅速に対応致します。
- ・最期の看取りまで対応しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは母体医療機関に隣接して建てられ、同一建物内に小規模多機能ホーム・サービス付き高齢者向け住宅が設置されている。看護職の配置や隣接医療機関と協力体制が整っており、緊急時や看取り時でも対応でき利用者・家族及び職員の安心となっている。法人内での協力体制が築かれており、研修や防災に合同で取り組んでいる。
- ・地域行事の夏祭りには踊り連で参加したり、1階の地域交流スペースを地域に開放して住民との交流を図っている。
- ・職員は管理者を中心に看護職と介護職が協働して、利用者が個々のペースでその人らしい生活ができるように支援に努めている。資格取得の支援や法人内の研修等で職員の質の向上を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念を掲げ、月1回の職員会議で唱和することで意識するようにしている。また、GH独自の理念を考えている。	職員会議で法人の理念を唱和している。法人の理念に基づき作成したグループホームうのき5ヶ条を食堂に掲示し、申し送り時に確認してケアの振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所への散歩等での近隣住民との触れ合い、また地域の祭り等への参加を行っている。	地域行事の夏祭りに参加したり、散歩や受診時、地域交流スペースで小規模多機能ホームとの合同イベントに住民も参加し交流している。実務研修生を受け入れており、芸能ボランティアの来訪もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や家族の集い等で認知症の説明や理解を求めている。また踊りの練習場所として場所を提供し、利用者へも披露して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者状況や活動報告するとともに、その時の旬な話題に関して行政含めて意見交換している。また地域住民や家族の意見を参考にして進めている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を開催し、ホームの状況報告と意見交換を実施している。医療ニーズの高い利用者が多いホームの状況についての理解を得ると共に、地域住民等の考えを把握する機会となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の催しや勉強会、講習会には参加し情報は得るようにしており、また日頃より相談をすることで協力関係を築くようしている。</p>	<p>市の担当者とは運営推進会議で意見交換をしたり、市主催の産業祭・福祉祭の運営に協力する等、日頃から連携を図っている。市の研修会に参加して、情報収集に務めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する勉強会を開催し、基本的な考え方をスタッフで共有している。現段階では身体拘束の実態はない。</p>	<p>毎年研修会を実施し、職員の理解を深めている。ベッドからの転落防止の為、床にマットレスや寝具を敷いたり、スピーチロックはその場で管理者から注意を促している。日中の玄関施錠はせずに見守り等で対応するなど、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者の尊厳に関する勉強会を開催することで、日頃の自分達の仕事を見直し、今後のケアに活かせる機会を設けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する勉強会をスタッフ主導で年1回は開催しており、知識の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>まずは契約前に事業所を直に見学頂き、大まかな説明から行っている。契約の際にはある程度ご理解頂いたうえで詳細を説明し最終確認を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から本人、家族の要望をまずは聞くようにしている。また入居者によっても差はあるが、日頃の訪問機会は多く、その際にお茶を出す等して話をする場を設けたりしている。</p>	<p>意思表示が困難な利用者が多いが、本人の要望を察知し、可能な限り対応している。家族には運営推進会議や年2回の家族会で意見を聞いたり、面会時に職員から声掛けして近況報告を行い、要望等を出しやすい雰囲気作りをして対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営に関する意見については、その都度職員からの意見を聞き、必要に応じて対応している。</p>	<p>毎月の職員会議や申し送り時に職員の意見等を聞いている。物品購入や看取り介護期の職員の支援体制等、出された要望等は必要に応じて対応している。個別相談は、管理者が対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>月の休日はしっかりと取れるように勤務を組み、できる限りの希望する休みを取れるように配慮している。年2回の自己評価を実施することで昇給等に反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	月に1～2回のGH内、法人内の勉強会を開催するとともに、外部開催研修案内も行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域の連合会に加入し、勉強会や活動に参加している。また外部の研修会に参加することで個々のスキルアップ、交流にもつなげている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に本人の要望を直接聞くこととしている。聞き取りが困難な場合は家族から聞き取りを行っている。利用後は日々の生活状況を面会時等に報告するようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者の要望はもちろんのこと、家族の要望を聞き取ることとしている。また、状態悪化時の考え方も場合によっては聞き取りしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずは利用者が今どういう状況なのかを今までの生活状況踏まえて聞き取ることで、判断している。グループホームとはどういう所かをしっかりと理解いただく為に説明を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にお茶を飲み、一緒に洗濯物をたたんだりする場を持つことで利用者に寄り添えるよう心掛けている。また、世間話の中で日々の話題も共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の訪問は個人差はあるものの多く、訪問時は居室やフロアで一緒にお茶をお出しし寄り添って頂いている。また、出来るだけ話をするように心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>出掛ける事はなかなか難しいが、家族や親戚、知人等が来た時は居室でゆっくりと過ごせるように配慮している。</p>	<p>家族・知人等の面会時にはゆっくりしてもらえよう雰囲気作りに努めている。家族の協力で墓参り等に出かけるなど、大切にしてきた場所や家族等との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>会話が困難な場合はスタッフが間に入り、意思疎通の橋渡しに心掛けている。またソファ等に寄り添う場を持てるようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退去後もその後の利用機関と情報交換を行っている。状況に応じてその後の再入居の支援にも努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの意向や希望は家族からの聞き取りと合わせて把握するように心掛けているが、困難な場合は行動や言動を尊重しながら対応している。	一人ひとりの思いを、家族等の情報を参考に把握に努めており、困難な場合は、表情・仕草・行動等を観察して推測することが多い。気付いたことを職員はメモしておき、リーダーが取りまとめて記録し、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報を把握することはもちろん、日頃の会話や家族や親族の面会時には積極的に話をし情報を得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ホームの流れはあるが、一人ひとりの状態に合わせた支援に努めている。また日々の状況を把握し、その時に合わせた支援を心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の申し送り等で、入居者の状況を細かく共有しており、その状況把握することで反映させ取り組んでいる。	本人・家族の要望や主治医・看護師の意見を入れた介護計画を作成している。申し送り時の職員の意見を参考に3ヶ月毎のモニタリングを実施し、介護計画の見直しは6ヶ月毎や状況変化時に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子はケア記録に記載し、排泄、食事、水分チェックはそれぞれで記録し共有している。その中で変化に気づき、その都度情報共有し迅速に対応している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>心身的にも様々な方が入居している中で一人ひとりに合った対応を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の資源を最大限活用するまでには至っていないが、ボランティアや慰問等は活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的な受診だけでなく、突発的の事に関してもすぐに相談できる体制をとっており、早めに対応できるように心掛けている。</p>	<p>本人家族の希望で母体の医療機関がかかりつけ医であり、医師への情報提供のため看護師が受診に同行している。毎日主治医の来訪があり、相談や緊急時の対応が取りやすく、適切な医療に繋げている。他科受診は家族対応を基本にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	病状変化等に関しては看護師と連携をとりながら情報交換している。またかかりつけ医にも常に状況報告することで適切に対応できるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関が隣接していることもあり、急変時には早急に対応できている。また情報を共有すること、また訪問することで安心して治療できるように支援している。病状の把握にも努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの事例も増えており、その都度、家族、主治医と意見交換しながら、その後の対応が柔軟にできるように進めている。	看取り指針があり、経管栄養の検討状態になった時に、家族への説明と意向確認をしている。主治医・家族の協力を得て、話し合いながら支援に取り組んでおり、看取りの事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	観察する視点や重要性を学ぶとともに、急変時の医療機関との連絡体制を構築している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署指導の下、避難訓練は隣接の医療機関と合同で行っているが全職員が自信をもって行動できるように更に取組みが必要。災害時に備え、備蓄品を配備している。</p>	<p>年2回隣接医療機関と合同の避難訓練を消防署の立ち会いを得て昼夜想定で実施しており、運営推進会議参加者にも呼びかけている。防火扉も設置しており、毎月自主訓練で通報システムの確認訓練を実施している。備蓄は水・レトルト食品・ご飯等を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として声掛けには十分注意している。失禁の時は周りに配慮しながら声掛けを行っている。	個々に応じた呼びかけに配慮したり、排泄介助時は居室の戸を閉めたり、ベッド上の更衣後に浴室に移動する場合はバスタオルで覆うなどの羞恥心への配慮に努め、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の言動の変化に気を付けながら、表情や行動等でも読み取れるように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのその日の体調に合わせて、起床時間や入浴、トイレ、休息など臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	居室の洗面所には大きな鏡があり髪の毛等を整えられるようにしてある。また居室にはクローゼットもあり様々な洋服を用意されている方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は厨房で作っており様々なメニューで対応している。また季節や行事に関した食事でも楽しんで頂いている。メニューの案内をすることで楽しみを持って頂いている。	厨房で調理し、個々に応じた食事形態で提供している。季節感を味わえるよう行事食を提供するなど、栄養士の協力も得ながら工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは管理栄養士の基確保されている。水分量も適時チェックしながら一日通して確保できるように心掛けている。また様々な嗜好品も揃えている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各居室の洗面所にて、各自清潔にうがいや義歯洗浄できる環境になっている。夜間は義歯は外し、水や薬剤に漬けて清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な誘導やその方の表情、パターン、サイン等を観察することで排泄の支援を個々に行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、居室トイレを使用して日中はトイレでの排泄を支援している。状況により2人介助やポータブルトイレを使用したり、夜間のオムツの使用も身体状況に応じて実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分が十分摂れるように、味や形態を工夫することや、乳製品等を個々に応じて提供しており、散歩等での運動機会を設けている。また個々の特徴を把握することで処置等を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回の入浴を基本としているが、体調や希望に応じてその都度対応するように心掛けている。午前、午後の希望を聞き入れるように心掛けている。	週2～3回の入浴を基本としており、入浴時間は体調等を考慮している。医療機関の特殊浴槽も利用し、本人への負担を掛けないようにしている。嫌がる場合は、時間を考慮したり声掛けを工夫する等で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも自室で休めるように環境を整えている。本人の要望や夜間の睡眠状況を把握し、その都度昼間の休息にも配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルし、いつでも確認できるようにしている。変更等があった場合にも申し送り確認している。また症状改善見られない場合等はかかりつけ医に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節毎の催しを企画し、楽しみや季節感を感じて頂くようにしている。また可能な限り、今までの趣味が出来るような支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節毎で外出機会を持ち、季節を少しでも感じて頂けるように心掛けている。家族の状況にもよるが定期的の家族と外出機会を設けている方もいる。</p>	<p>気候や体調を見ながら散歩をしたり、年間計画は決めず車椅子の利用者も特殊車両で数人ずつ、季節の花見や初詣・ドライブに出かけている。家族と墓参りや外食等に出かける利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持を制限していることはないが、現在の利用者では自ら所持し、買い物等で使用する機会はない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙でのやり取りは出来ていないが、面会が多いこともあり直接会う機会が多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度や湿度管理を行い快適に過ごせる空間作りに努めている。毎月のカレンダーでは季節の貼り絵を一緒に作成しフロアに掲示。また季節感のあるもの（折り紙での季節の花等）を掲示することで、季節を感じて頂いている。	フロアは広くゆったりしている。行事の写真や毎月の手作りカレンダー・活け花を飾って季節を感じられるよう工夫している。温・湿度などの室内環境も快適に調節されている。利用者は、ベランダに出たり、畳スペースやソファで思い思いに過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア以外にも畳部屋があり、くつろげる場所を用意してる。またソファもあり、食事席以外での一人、または少人数で寄り添える場を設けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族には入居時に説明することで、本人、家族の好きなように飾って頂いている。	電動ベッドやクローゼットのある広い居室には、トイレや洗面台が設置されている。利用者は、毛布や時計・家族の写真・活け花等で居心地良く過ごせるようにしている。寝具はリースで清潔に保たれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の配置や食堂の席の配置は、個々の残存能力に応じて検討している。車イスでも出来るだけ自由に動けるように環境整備に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない